

No. 77

2010

11月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
大沢 操
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

“秋本番”

萩の郷文化祭り
ふれあい広場開催



今年の夏は異常でした。気象庁のデータによると統計を一八九八年に始めてから、最も気温の高い夏でした。今年も下市田の文化祭り、萩の郷ふれあい広場が十月十六日・十七日開催されました。まず落語にて幕を開け、子供の前向きな話し方に皆さん感動。その後、高齢者の表彰、記録によりますと十年前より表彰される方が倍に増えています。

舞台発表は、体を動かしたり、歌ったり、皆さんが参加できるよう工夫され、楽しいひと時を過ごすことができました。又、数多くの出演は、本年より従来の二階での展示を一階に変更し、見学しやすくなり、多くの力作・秀作が整然と展示され、趣味を超えた日々の努力の研鑽をみるこ

とができました。
秋は実りの収穫、芸能・スポーツと一年のまとめとして大切な時期にこの事業があることは、意味深い事です。

今、萩の郷は秋本番を迎えています。

区の情勢について

区長 大沢 操

下市田四区交通安全住
民大会が、十月三日下市
田区民会館で行われまし
た。毎年区を替えて実施
しているものです。

下市田区内で、二件の
死亡事故が発生しており
ます。

二件の死亡事故とも、
なぜこの広い場所で起き
たのか、みんな不思議に
思うような場所で起きて
います。少し注意すれば
防げたのではないかと思
います。

います。高齢
者の皆さんは
動作も遅くな
ります。

区民会館に
白アリ被害

副区長 福島正夫

区民会館は建設以来十
四年経過後し、今までに
今回を含め三回の被害が
確認され、その箇所の修
理が行われています。



今回は、明治の文書が
中心となっております。

下市田の歴史、沿革、
地方自治、消防、宗教、
神社、仏閣、教育、経済、
水利、土木、福祉、青年
団に関わるもの等、多岐
にわたっております。

今回の整理も
下市田史談会に
依頼、三年ほど
掛けてきれいに
整理をしていた
だきました。関
係された皆様に
感謝申し上げます。

歴史と伝統あ
る下市田区の宝
物として、末永
く後世に引き継
いでいきたいと
思います。

最初の平成十六年は一
階の二号室へ発生し防除
が行われ、二回目は二十
年に前回の西隣の三号室
へ、三回目が今年で一号
室のいずれも発生場所は
ホール(台所)との境の
敷居と、最初と今年は玄
関の左側上がり框に発生
しました。今回は白アリ
の駆除と予防対策を名古
屋の専門業者へ依頼し、
過去の被害部分を徹底的
に処理を行いました。

平成22年度 下市田区一般会計中間決算報告書

(自 平成22年4月1日～至 平成22年9月30日)

決算収入額 20,867,307円 決算支出額 11,703,945円 差引残高 9,163,362円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
1. 区 費	15,700,000	7,756,200	△ 7,943,800
2. 繰 入 金	1,100,000		△ 1,100,000
3. 町 支 出 金	7,000,000	3,679,112	△ 3,320,888
4. 財 産 収 入	1,050,000	648,637	△ 401,363
5. 地元負担金	500,000	188,426	△ 311,574
6. 消防義務金	1,900,000	1,740,000	△ 160,000
7. 諸 収 入 金	1,500,000	333,842	△ 1,166,158
8. 前期繰越金	6,521,090	6,521,090	0
収入合計	35,271,090	20,867,307	△ 14,403,783

【支出の部】

△印減(単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
1. 総 務 費	12,850,000	3,507,850	△ 9,342,150
2. 環境衛生費	1,010,000	0	△ 1,010,000
3. 林 務 費	830,000	22,224	△ 807,776
4. 土 木 費	3,067,000	564,725	△ 2,502,275
5. 水 利 費	6,825,000	3,915,000	△ 2,910,000
6. 防 災 費	2,754,000	1,573,551	△ 1,180,449
7. 公 民 館 費	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
8. 予 備 費	4,935,090	620,595	△ 4,314,495
支出合計	35,271,090	11,703,945	△ 23,567,145

平成22年度 高森町公民館下市田支館 中間決算報告書

(自 平成22年4月1日～至 平成22年9月30日)

決算収入額 2,394,024円 決算支出額 1,799,667円 差引残高 594,357円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
繰 越 金	525,000	525,367	367
繰 入 金	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
補 助 金	520,000	362,400	△ 157,600
雑 収 入	1,000	6,257	5,257
収入合計	4,046,000	2,394,024	△ 1,651,976

【支出の部】

△印減(単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	2,270,000	977,617	△ 1,292,383
事 業 費	1,745,000	788,838	△ 956,162
広 報 費	10,000	0	△ 10,000
予 備 費	21,000	33,212	12,212
支出合計	4,046,000	1,799,667	△ 2,246,333

萩の郷祭り

—7月24日—

天気に恵まれて!!



『衣装もパッチリ ダンス・ダンス・ダンス』

今年も七月二十四日(土)に、下市田区の年間行事の一つ「萩の郷祭り」が、盛大に行われました。天候に恵まれて、下市田区長・支館長を中心に、この日の為に企画・運営と何度も集まり話し合いをして来ました。支館部員達もそれぞれ分担当所が決まり、当日朝から準備を進めて行きました。

外では、お楽しみコーナーの皆様も早くから集まって、暑い中、汗をかきながら準備をしてくださいました。

子供達も待ち遠しく走り回り、お祭りの始まりを、待っていました。そして午後五時半、紅華の皆様による呼び込み太鼓の始まりです。

今年も七月二十四日(土)に、下市田区の年間行事の一つ「萩の郷祭り」が、盛大に行われました。天候に恵まれて、下市田区長・支館長を中心に、この日の為に企画・運営と何度も集まり話し合いをして来ました。支館部員達もそれぞれ分担当所が決まり、当日朝から準備を進めて行きました。

今年も七月二十四日(土)に、下市田区の年間行事の一つ「萩の郷祭り」が、盛大に行われました。天候に恵まれて、下市田区長・支館長を中心に、この日の為に企画・運営と何ども集まり話し合いをして来ました。支館部員達もそれぞれ分担当所が決まり、当日朝から準備を進めて行きました。

「待ちに待った 夏祭りのSTART」



披露して頂きました。第六部の「縄文の火おこし、子供花火大会」は、火おこした火種からの点火です。子供達も一生懸命に火種に火をおこし

そして最後に、全員の参加で盆踊りをしました。

今年も昔懐かしの「マイムマイム」を踊りました。

私も中学校以来だったので、何とか思い出し、皆さんと楽しく踊る事が出来ました。

賑やかだった萩の郷祭りも、いよいよ終盤に近づきました。役員にとり、下市田区の大きな行事の一つ「萩の郷祭り」を終える事が出来ました。

お祭りにご協力頂いた全ての関係者の方々に感謝申し上げます。

役員の皆さんありがとうございました!!

岡村記



『保存会による 木遣りの初披露...』



『暑い中 熱々の五平餅に奮闘中!!』

平成22年度 下市田文化祭り 萩の郷ふれあい広場

盛況だった文化祭り

（まで）の両
日に、下市

好天に恵まれて、十月十六日（午後一時より四時三十分まで）・十七日（午前九時から午後四時



田区民会館において「下市田文化祭り」が開催されました。

展示発表は、二日間にわたり屋内外で行われ、十七グループ、個人などの多くの皆さんによって出品をいただくことができました。

陶芸・油絵・水墨画・

手芸品・書・盆栽・写真など、素晴らしい作品を寄せていただき、多数の区民の皆さんに鑑賞していただきました。

昨年度の反省から、階段の上り下りをなくし、移動の負担が少なくなるように、展示場所を二階から一階に移すようにしました。



「ふれあい広場」に出演された皆さんの控え室が二階になり、御苦労をおかけしたこともあったかと思われま

萩の郷ふれあい広場

保育園年長
さんと中学

今年も十月十七日に下市田区民会館におきまして、七十五歳以上の皆様をお招きして長寿を祝い、恒例の「萩の郷ふれあい広場」が、大勢の参加で賑やかに開催されました。今回は少し趣向を変え「土曜笑学校」という、

が、展示作品の搬出や搬入がスムーズに行えたり、鑑賞も多数の区民の皆さんにゆったりとしていただけて好評でした。

茶道クラブの皆さんによるお抹茶の接待も、今年度は会館入り口近くの事務室を利用しました。クラブの皆さんの心づくしと連携で、例年と変わらぬ温かく薫り高いお抹茶とお菓子を共にいただくことができました。心とむひとときとなり、多くの方が楽しんでおられました。

今年度の文化祭りも、二日間に行われ、多くの方々が参加して下さり、大盛況となりました。

北沢記



生と高校生三人による落語から始まりました。あまりの上手さに話に引き込まれ、最後の落ちで大笑いでした。すっかり笑った後は「しなの風の子合唱団」という町内の子供達の合唱団の澄んだ歌声を聞かせてもらい、開会式、表彰式と進行していききました。

今年度は喜寿の方が四十

三人、米寿の方が十三人、卒寿（九十歳）以上の方が



が七十四人と大勢の皆さんが表彰され、記念品が贈られました。

ここで祝宴となり昼食をとり、第二部として「高森ニューサウンス」により、里の秋などの秋の情景メドレーなどの演奏の後、「さくら会」の皆さんによる踊りの指導により会場にいる人達全員で（鐘の鳴る丘）や（好きになっ人）などを踊りました。大勢でやったので、本当に楽しかったです。笑って踊って五歳は若返ったのではないのでしょうか。

祝宴の最後は「ワインドウィスパ」(風のささやき)の皆さんによるアコーディオン演奏に合わせて、信濃の国・ふるさと等を皆で合唱しまし



た。最後に万歳三唱で終宴となりました。

帰って行く皆さんの笑顔を見送りながら、これからも健康に気をつけてお元気で過ごされる事を願いました。

市岡記

消防ふれあい広場

高森町消防団第一分団

皆様には、消防団の活動に御支援、御理解をいただきありがとうございます。十月十六日に行われた「消防ふれあい広場」では、天気にも恵まれ沢山の方に参加していただくことができました。

私達消防団の日頃の活動として主に火災時に備えての訓練、行事などでの警護、火の元点検、広報などの予防消防がありますが、消防団として地域の皆様とふれあう機会も少ないため三年前からこのふれあい広場に参加させていただいています。



今年の内容として「消防車乗車体験」「水消火器による消火

体験」「写真撮影」があり、消防車体験では実際に乗っていた会場周辺を回りました。子供から大人まで多くの方に参加していただき、なかなか乗る機会もない消防車乗車体験を楽しんでいただく事ができました。

水消火器による消火体験では実際に水を噴射したのを倒す体験をしていただきました。勢いの強い水鉄砲の様な感覚で子供達にも楽しんでいただけたと思います。

写真撮影では、消防車の前で写真を撮っていただき、子供達の良い思い出になったのではないのでしょうか。

今回参加させていただき、私達消防団員も皆様とふれあう事ができ、とても良い体験となりました。私達にとって今後の活力となりました。

そこで、さらなる活動のため、消防団員を募集しています。訓練など大

支館役員、分館長、主事 能登研修旅行

残暑まだ厳しい八月二十八・二十九日に北陸への支館、分館長、主事の研修旅行を行いました。

バスで高速道路の松本変な事もありますが、私達は互いに協力し合い楽しく活動しています。少しでも興味がある方は是非、入団していただけたらと思います。今後とも御支援、御理解の程よろしくお願いします。



インターを経由し、安房トネルから飛騨高山

高山市内を散策した後、「まつりの森」で豪華な高山祭の屋台、からくり、大太鼓を見学してから、世界遺産の白川郷に寄り、砂浜の波打ち際を約八キロメートル走る爽快な「千里浜なぎさドライブウェイ」を体験し、その夜は、北陸の輪島に宿泊しました。

翌日は、輪島の朝市を

代議員会研修旅行

今回は、東京都内・横浜・鎌倉の旅です。

貸切バスで一路東京都内へ。車中は幹事・区長さんの挨拶、続いてそれぞれの歓談サロン席は賑やかに都内に到着。「東京江戸博物館」を見学。

昼食後は東京の新名所建設中のスカイツリーを車窓から、柴又帝釈天・矢切の渡し・寅さん記念館を見学、浅草から遊覧船にて日の出橋まで隅田川を下り、東京湾アクアラインで本日の宿泊先木

散策した後、全国棚田百選に選ばれた白米の千枚



田を見学したところ八月末で稲刈りをしている光景が見られました。

珠洲の塩田村に立ち寄り、塩田まで海水を汲み上げることから「揚げ浜式」と呼ばれる製塩法を見学し、ほんのりとした甘みとコクのある揚げ浜塩や塩サイダー等をお土産にし、帰路に向かった。

坂牧記

更津黄金風呂の「龍宮城ホテル三日月」に到着。ひと風呂浴びて、副区

長さんの音頭で乾杯宴会に。カラオケ・吉川自治会長さんの手品・どこの誰かは知らないけれど月光飯面のおじさんの登場大変盛り上がった宴会となりました。

翌日はアクアライン海ほたるを経由、築地場外市場を見学。美味しいお土産の買い物を済ませて、横浜中華街へ中華料理の昼食。紹興酒で乾杯。散策。花と眺望の寺鎌倉



ようこそ下市田へ

『はじめまして』

一区 筑丸成人

去年十一月にこちらへ 遊んだり、散歩をするに引越してきました。私達も最適な環境だと思っています。

息子の三人家族です。息子はよくおしゃべりもし、外遊びの大好きなやんちゃ坊です。

この場所は、学校や公園・資料館・図書館などが近く、息子と散歩できる場所もあり、自然も多く、静かなこの土地は、これから子どもが成長していくにはとても過ごしやすい、引越してきて良かったと感じています。

また、車の通

りも多くな

子どもと庭で

又、道でお会いする方々

は、やさしく声をかけて下さり、住んでいる方々の温かさを感じました。

こちらへ越してきて、もうすぐ一年が経とうとしていますが、最初の頃は行事やイベント等でも分らない事が多く、同じ組合・常会の方に度々お聞きしてしまいました

が、嫌な顔もせず、やさしく教えて下さり、とても有難く、嬉しかったです。

まだまだ分からない事も多く、皆様にはご迷惑をおかけする事も多いかと思いますが、これから末長く宜しくお願い致します。

渡り鳥

四区 加藤富貴子

職場は、飯田市川路の天竜川堤防上、天龍峡入口あたりにあります。

秋から冬にかけて、空気が澄み、天竜川の上流に向かって右側に仙丈ヶ岳、左側に中央アルプスが見えます。両山並みが夕日で赤く染まる景色は心が

洗われます。秋、天龍峡入口付近はツバメの南へ渡る集合場所(?)になります。

例年九月初旬から台風や雨の後、急に秋らしくなると、朝からイワツバメ、ツバメが混ざり上空に黒ゴマをまいたように、おびただしい数が徐々に集まり空高く飛びまわり、夕方には小さな群れを残すだけの日がありません。毎日ある訳ではなく、例年十月

洗われます。

秋、天龍峡入口

付近はツバメの南

へ渡る集合場所(?)に

なります。

例年九月初旬から台風

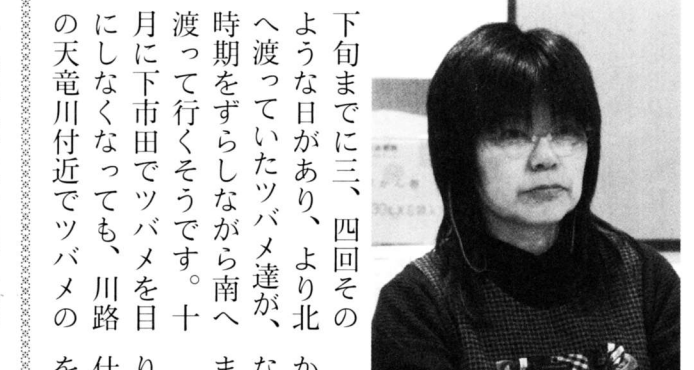
や雨の後、急に秋らしく

なると、朝からイワツバ

メ、ツバメが混ざり上空

に黒ゴマをまいたように、

おびただしい数が徐々に



群れが現れる日があります。ツバメの群れは個々気ままに飛び回り、スズメの群れのような飛び方はしません。

今年は暑さが続き、九月二十三日に初回の群れが現れました。

春は早い年で二月末頃から、秋のような大群でなく、数羽単位で現れます。

最後に、窓から外ばかり眺めている訳でなく、仕事もこなしていることをお伝えします。

随想

波の一人言

五区 浜田俊悦

内地まであと十日あまり。昭和三十三年四月一日早朝、七ヶ月の航海を終え、無事大阪港にイカリをおろした。この日は日本中の諸兄にとって色々な意味で記念すべき日となったのである。「売春禁止法条例」なるものが発布。この日の午前零時をもって巷の赤い灯、青い灯が一斉に消えてしまった。残念この上なし。当時のお姫様達はどこに行っ

てしまったのか、別に夜の遊びを賞讃する訳ではありませぬ。只、一まつの物足りなさを感じていた。その後、南極海、北氷洋、地球二十六周、寄港高であった。

当時、休暇を利用して

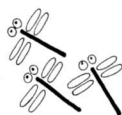
アラスカ、カナダと一人旅した事がある。両側から迫る断崖の間を優しく迎え入れてくれる、まるで女性の様でもある。いつの日か、もう一度たずねて見たい。又、機会があれば、一人言。

不規則に近代化された都市よりも、風雪に耐える静かに花を咲かせ、時には大洪水をおこし、人間共をあわてさせ、そして優しく迎え入れてくれる、まるで女性の様でもある。いつの日か、もう一度たずねて見たい。又、機会があれば、一人言。



した国五十二ヶ国、気が付いた時は定年まぢか。日本に着く度この国が一番と思った。食物も酒も水も、もちろん女性も最高であった。

ぼくの作文



小六中村莉那(四区)

ンに乘ったり、ビック
サンダーマウンテンに
乗ったりしました。
とガッカリしました。け
れど、このジェットコー
スターに乗る前のドキド

その後、時間が少ししかないのにさらに、カリブの海賊に乗ってしまったのでそこから生のおもしろかった事は一生の思い出に残りました。今のクラスの人とは中

走りました。ギリギリ間に合ったと思いました。もうかもしれないけれど、この思い出はぜったいに、しまっていました。今までも忘れないようにしています。

今が**んば**っている事

小六林果步(五区)

私が今がんばっていることは、四才からやっている新体操です。四年生のころはまだ育成コースで練習が週に二回しかなかったけど、五年生の春も五年生の夏の大会では、ロープという手具で出た



けど、いい演技がのこせませんでした。それから冬の大会もロープでたけど、ミスをしてしまいました。それから六年の夏の大会はフープという手具で出ました。今回は

入賞したいと思いました。そうしたらフープの演技はノーマスできて、なんと四位になることができました。すごうれしかったです。

また次の大会でも出してもらえるように、ちゃんと練習したいです。練習は大変だけど、仲良しな友達もいるし、先生もいろいろ教えてくれるので楽しいです。次はクラブというむずかしい手具をやるので、これから一生けん命練習をがんばりたいです。

地域の紹介

三區自治會長

洒井安雄

地域社会において、少子高齢化が進み、先行が進む中で、世帯数も増えると思います。

き不透明な社会
です。

比 限界集落と言
う言葉を聞きま
すが、今下伊那地方の山
村では、現実におきてい
ます。

「下市田三区」では、世帯数二百八十四戸、人

治会となり、町内でも数少ない世帯数の増加地域です。今後、毎年力行会加入者がお

おります。

分館の事業ですが、自治会と一体となって、今

自治会では、(一)環境づくりⅡ地区計画による道路・水路・安全施設の整備、(二)人づくりⅡ全世帯参加のコミュニケーション活動、

年度は六月多世代交流会、十月ふれあい運動会、十一月ふれあい広場、一月ペタンク大会等、計画を立て実施しております。

（三）体力づくり、スポーツを通じて体力づくり等、三本柱を軸に活動を行っております。

多世代交流会には、写真の通り昼食時の写真ですが、盛大に楽しい交流会が出来ました。本年度



分館の最大の事業であり、ますますふれあい運動会は、十五常会が参加し十六チームが争う大会です。老いも若きも、みんなが楽しみ、ふれあい運動会を行う事により、会員の連帯と親睦を深める大切な行事であります。

地区内にも取組まなければならぬ地区計画があります。住みよい、活力ある地域社会を目指したいと思えます。

地元施設の紹介

かわせみの家

NPO法人 びすけっと

代表理事 本島 多勢子

私たちは平成十年から「かわせみの家」をお借りして活動しています。もちろん人暮らし等の高齢者へ手作りお弁当を日曜日を除く毎日お届けしたり、家事支援としてゴミ出し、掃除、病院への付添い、雪片づけ、草取りなどの有償サービスを行っています。平成十五年からは「NPO法人（特定非営利活動法人）びすけっと」

おり、アコーディオンやギター等の伴奏で、懐かしい歌、思い出のうた等を老若男女が集まり大きな声で歌っています。常連のお客様もお持ち、楽しいひと時が過ぎます。「かわせみの家」に一度来てみませんか、お待ちしています。



かわせみの家



歌声喫茶

かわせみサロン

と改称し、介護保険事業も行っています。活動の拠点として天竜川沿いの

萩山神社より

氏子総代長 中塚昭美

秋の例大祭も好天に恵まれ、無事に納める事が出来ました。

さて最近では高齢化の話題が多く、特に後期高齢者七十五歳以上の人が三分の一以上の状況の様です。

神社に於いても、参拝される方々には階段の昇降に難儀な思いをされていることと思います。そこで少しでも解消する事は出来ないか検討した結果、社務所玄関前から駐

車場広場までの坂階段を降りるのに難儀をされたと思いますが、今後参拝の帰りにはスロープ路を出来るだけ利用して頂けたらよいのではないかと思います。

秋の例大祭も好天に恵まれ、無事に納める事が出来ました。

設置して少しでも緩和できないか、問題は工事費。発注施工では神社の予算では絶対無理。結局自主施工で行う事になり、八月初旬数日間、八月下旬数日間、写真の通り完成したのです。現地に合わせたので多少勾配となり、滑る危険もありますので後日手摺を取付ける予定をしています。



委員会活動報告

防災委員長 竹村征夫

九月五日の町全体の防災訓練に合わせて行われた下市田区の防災訓練には、多くの区民の皆様に参加ご協力を頂き、ありがとうございました。

今年の訓練は、実際に災害が発生した時、電話とか有線などのインフラが正常に働くはずがない、ということに人による伝達のみで行いました。下

市田全部で戸数は千一百一十一戸、参加戸数は九百七十七戸、参加人数男性七百七十四人、女性五百六十一人、計千三百三十五人でした。

避難訓練の後で各自治会による各種の訓練が行



避難場所の確認

われしました。消火器を見ることが無い人が消火器を使えますか？消火栓を開いたことが無い人が消火栓を使えますか？大災害が発生した時、まず自分の安全を確保し、家族の安全を、そして隣近所の人たちの安全を考えると常に防災訓練、避難訓練に参加して身につける事が非常に大切です。下市田区民の皆さん、機会がある度に訓練に参加しましょう。

編集後記

大きいシマウリが出来たが、こんな硬いものは漬物にならないと言って、山の神に捨てられてしまった。せっかく作ったのになんてことを、と嘆いていたら、トマトもウリも今年の野菜などの皮は硬かったそうだ。この夏の異常な天候のせいらしい。生物多様性への取り組みが叫ばれているが、生々流転も途絶える恐れを感じさせる今年の異常気象だった。